

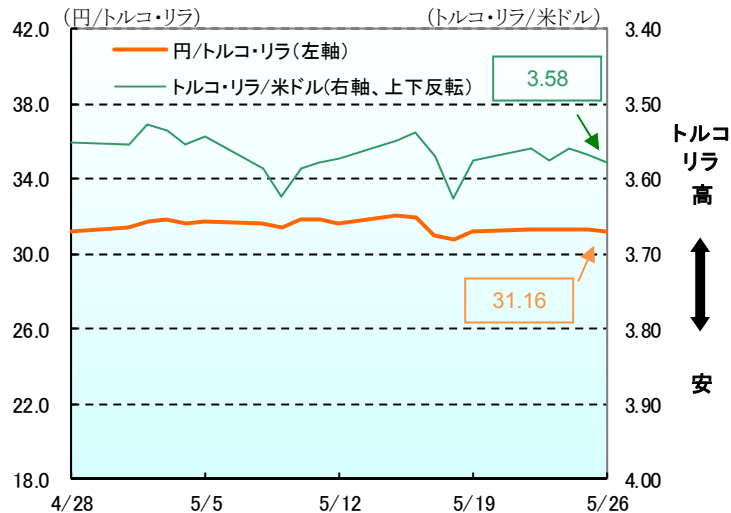
トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年5月20日～2017年5月26日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通してみると対米ドル、対円共にほぼ横ばいでの推移となりました。またトルコの2年国債金利については金利低下となりました。特段重要な経済指標の発表は無く、そのほかに相場を動かす材料も国内では特に無かったこともあり、為替については1週間を通して小幅な値動きでの推移となりました。19日（現地、以下同じ）はトルコの金融市場は祝日のため休場となっていました。ブラジルでテメル大統領に対する汚職隠蔽（いんぺい）疑惑を受けて高まっていた投資家のリスク回避姿勢が、後退を見せたことを受けて、週明けのトルコの2年国債金利は低下しました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年4月28日～2017年5月26日)



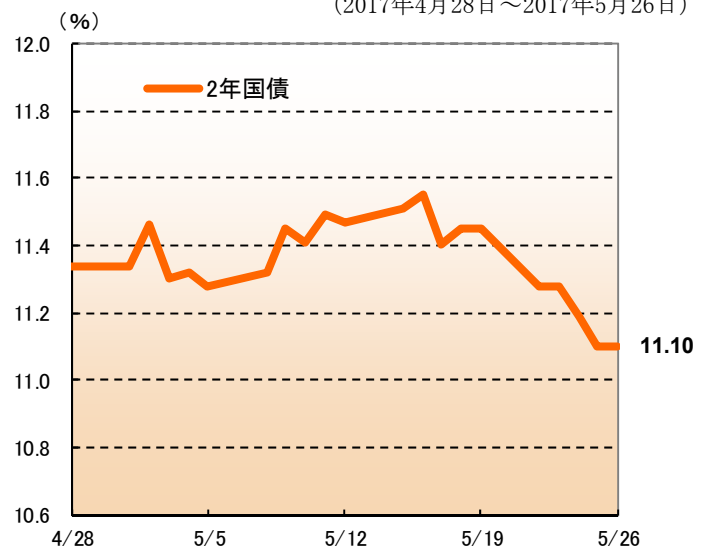
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は、4月の貿易収支の発表が予定されています。ブルームバーグ社が集計する事前予想では49億ドルの赤字が見込まれています。引き続き、強力な権限を有するエルドアン大統領の動向に注目が集まりやすいと考えています。政治的な問題が一段落したことから、今後エルドアン大統領の目は政治面から経済面へ向くと予想します。なお、トルコでは、5月27日からラマダンが始まっており、6月25日までイスラム教徒は日の出から日没まで飲食を控えます。

【トルコ 金利推移】

(2017年4月28日～2017年5月26日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>